アキレルショウジョ
ブラダマンテちゃんとドスケベ性交！！
ブラダマンテちゃんご出勤！
超優良デリヘル店デリ☆サバ
生ハメ中出し可！！
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

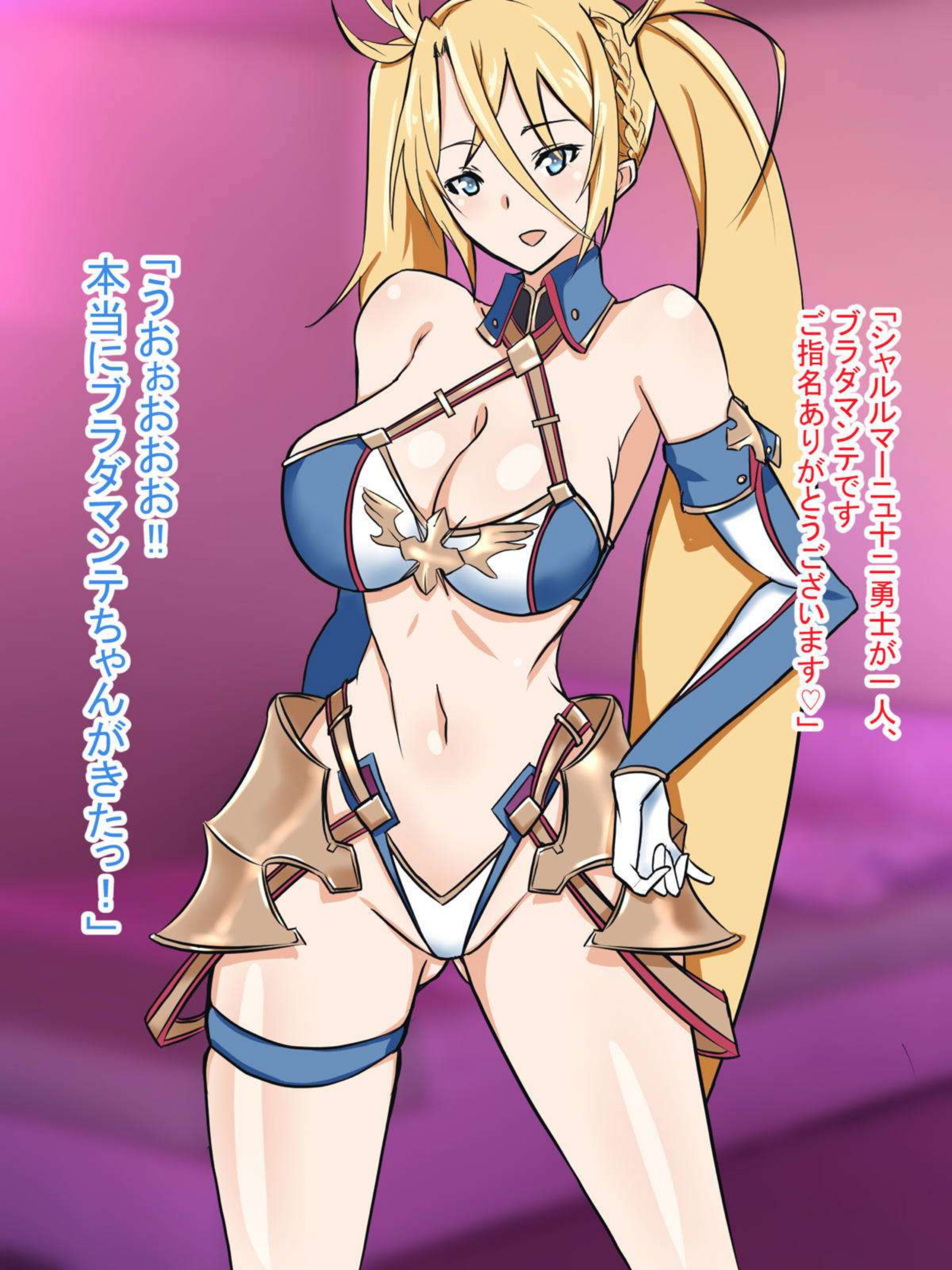
超優良デリヘル「デリ☆サバ」
この店の売り・・・・それは
美少女サーヴァントたちとヤリ放題！
しかも、生ハメあり！

指名方法は通常のデリヘルと同じ

写真やプロフィールを見ていると
新人だが今最もホットなあの娘を発見

これは指名するしかない！

期待と不安でそわそわしながら
その娘を待つ


「シャルルマーニュ十二勇士が一人、
ブラダマンテです
ご指名ありがとうございます♡」
「うおおおお!!
本当にブラダマンテちゃんがきたっ!」

「ブ、ブラダマンテちゃんっ！
早速だけどお尻が見たいんだっ!!」
「ええっ、出会ってまだ
数秒なんですけど…♡」

ブラダマンテちゃんは
後ろを向くと豊満な尻を
こちらに向けた

「もう、せっかちさんですね♡
どうですか？
私のお尻♡」

フリ♡

フリ♡

「うはあっ！
コレはっ!!」

腰をクネらせながら
蠱惑的に尻を振る

「ブラダマンテちゃんの生尻が目の前にっ!!」
俺は思わず身を乗り出し、凝視する
「すっごい見てますね そんなに見たかったんですか？」

「そりゃもうっ！
宝具演出の時
尻にしか目がいかないから」
「え～
恥ずかしいです♡」
フリ♡
フリ♡
たまらなくなった俺は
股間から一物を取り出す

「お尻やわらかぁ……っ」
「ずっとこの尻にこすり付けたかったんだよ……」
「ふふっ♡私も我慢できなくなってきたかも……♡」
ブラダマンテちゃんはこちらに向き直ると俺の足元に座り込んだ
フリ♡
フリ♡
プニ♡
プニ♡

「おチ○ポの臭いで
スイッチ入っちゃった♡
いただきま～す♡」

ぱくっ♡

「おほおっ！
ブラダマンテちゃんの
お口いっ!!」

にちゃ

くちゅ

「んぐっ♡んちゅっ♡
おチ○ポおっきぃ～♡」
レロ♡レロ♡
「はぁはぁ……
気持ちぇぇ……」
「んぁっ♡
濃い味……♡
このチ○ポ結構好きかも……♡」
にぎっ♡
ぎゅっ♡

「くううっ……
こんなにしゃぶりついて……
チ○ポ大好きなんだね」

スコ
スコ

「はい♡
でも今まで味わった中でも
お客様のチ○ポ、すごくいいです♡」

ドクン♡

にちゃ

ぬちゃ

「んん♡このオチ○ポ美味しい♡
んあぁ…きもちよくなっちゃいます♡」

ブラダマンテちゃんは
激しくチ○ポをしゃぶりつつ、
股間に伸びている右手も激しさを増していく

スコ
スコ

「ブラダマンテちゃん…
ヤラシイ娘だね♡」

ぷちゅ
ぷちゅ

「うぐぅぅ……
もう、出そうだよ……！」

ぐちゅっ

ぐちゅっ

「いいですよ♡
そのまま射精してください♡」

ぬぷぷ♡

にちゅ♡

ぬぷっ♡

「ブラダマンテちゃんっ！
射精すよおっ!!」
ぴゅ♥
とぴゅ
「んんっ♡」
ぷしゅ♥
ぷしゅ♥

「んぐっ…ごくっ♡
美味しっ♡
お客様のザーメン飲んじゃった♡」
「ブラダマンテちゃんが
俺の臭いザーメン飲んでくれてる！！
感動だっ！」

「わ～♡
もう完全回復ですね♡」
「早くっ！
早くブラダマンテちゃんの
中に入りたいっ!!」
「ふふっ♡
じゃあ入れちゃいますね♡」
ぷゅんっ
じゅくっ
ぷくっ
ぷくっ

『あん…っ！』
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
『うはぁぁっ!!
入ったぁぁぁっ!!』
ズンッ

「はぁぁん♡お客様のオチ◎ポ…大きくてカチカチ♡」

「ブラダマンテちゃんのマ◎コしゅごいいい!!ものすごい締め付け!」

「ラフンッ♪鍛えてますから!こうやって自由に動かせるんですよほら♡」

「うはぁぁあっ!!」

ぐちゅ

ぐちゅ

パンパン

ズチュ
「ん…っ！
オチ◎ポぉ……
気持ちイイ♡」
ズチュ
「うぁあっ!!
すごっ!!
膣内がグニグニ動いて
絞り上げてくるっ！」
ズチュ

ずぷっ
「ぐあぁっ!!
気持ち良すぎて…
もお出ちゃうよぉっ!」
ずぷっ
「あぁん♡
私のナカに…
お客様の精子くださいっ♡」
「奥までドロドロにしてくださいいっ♡」
にちゃ
くちゅ

とん
『んがああっ!!』
ぱぁ
『あはぁっ♡
ナカに射精てるっ♡』
ぷしゅ

はぁ♥
はぁ♥
「はぁぁ……
気持ちぇぇ……
ナカダシしちゃったぁ……」
ぽぉ……
「私のナカ、
お客様の精子で
いっぱいですよ♡」
どくっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ

「あぁ♡…んっ♡
私のオマ○コ気持ちいいですか？」

「こうやって動かすと
色々なところに擦れてイイでしょ？」

ずりっ

たぷんっ

「お客様の大きいから
いっぱい動いて擦ってあげますね♡」

ぐぷぷ

ぐぷぷ

「んあぁ♡…ナカぁ…
かき回されてる♡
はあぁ～っ♡」

「気持ち良すぎてっ…
腰が止まらないっ……♡」

ずぷっ

ずぷっ

ずぷっ

ずぷっ

おっぱいブルンブルンさせて
尻を上下させるの
エロ過ぎる……っ!!

「んはっ……♡
んあぁっ……♡♡」

ブラダマンテちゃんの腰が加速していく
俺から濃厚な精液を絞り出そうとする動きだ

粘膜同士の擦りあいが
たまらない快感を生んでいく

ちゅぱっ

すっ

ぱんぱんっ

ぱんぱんっ

ぱんぱんっ

「一緒にイこうっ!!
ブラダマンテちゅあぁん、出すよ!」

「イイよっ♡
ナカにっ…♡
出してっ……♡」

ちゅぱんっ

「膣内にいっぱい♡
ザーメンどぴゅどぴゅしてっ♡」

すっごぉ

ちゅぱっ

「出るっっっ！」
びゅるるるっ！！！
「んはぁぁ～♡出してぇ♡」

「はぁぁ…
すっごい出たぁ…!」
ハァ・ハァ・
たぷぷ
きゅん♥
どぴゅっ
「んっ♡
お客様の精子、ドロドロに濃くて
孕みそうです…♡」

翌日…
興奮冷めやらない俺は
午前中で仕事を切り上げ、
すぐにデリ☆サバに連絡した

もちろん、ブラダマンテちゃんを指名

脳内ではすでに
あんなプレイ、こんなプレイの
妄想が繰り広げられている

「ブラダマンテちゃん、脇！脇見せて！」

ぱっ♡

ハァ…♡

「え～、脇ですか？お客さん結構変態さんですね～♡」

ぱっ♡

「あぁ…っ脇…
うまっ……甘酸っぱいい……♡
「も～♡
そんなところ汚いですよぉ」

「おへそぉ…♡
おへそもしゅきぃぃ…♡」
ぷにぷにぷに

「うあぁっ!!
出ちゃっ…!!♡」
パパ。
パパ。
パパ。
ぴくぴくっ
ぱぱっ。
ぱぱっ。
ぱぱっ。
「え?……」

「ご、ごめん…興奮しすぎて精子漏れちゃった…♡」
ハァ、ハァ、ハァ、
「大丈夫ですよ♡気持ち良くぴゅっぴゅしてくれれば♡」
「あ、オチ○チンまた勃起してる♡」
ドピュッ
どぴゅ!!
「次はおっぱいでしてあげますね♡」

「んっ♡
じゃあズリズリしちゃいますね♪」
あは♡
ぎゅむ♡
「うはあぁっ！
おっぱいいっ!!」
ブラダマンテちゃんは
チ〇ポにおっぱいを押し付けた

「うふふっ♪
私のおっぱい
どうですか～？」
ブラダマンテちゃんの巨乳で
俺のチ〇ポがぎゅぎゅっと
挟みこまれているっ！
ムビフッ

「動かしますよ……
いっぱい射精してくださいね♡」
ぱん
ぱん
ぱん♥
はぁ♥
はぁ♥
たぷん
たぷん

ぱん
「んっ♡ お客様のコレとても素敵です♡」
はぁ♥
たぷん
たぷん
ぱん
「おっぱいが犯されてるみたい♡」
ぱんっ
「はぁはぁ…ブラダマンテちゃんの乳圧もすごいよぉっ」

「くあぁぁあっ!!
ブラダマンテちゃん!
もう限界っ!!」
あはっ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
「いいですよ♥
好きなだけ射精してください♥」

とい
ぴゅ

「んふぅ……出ちゃったぁ……」
ぶしゅ
びゅっ
びゅっ
「ふふっ♡いっぱい出ましたね♡オチ○チンかっこよかったですよ♡」

「ふぁ♡……もっと突いてぇ♡はぅん♡」

性欲に火が付いた俺たちは発情期の動物のように交尾し続けた……

「オチ⊙ポ気持ちイイ♡こんなのおかしくなっちゃうぅ～♡」

「はぁ……はぁ……ブラダマンテちゃんとのセックスしゅごいい……止まらないよぉ……」

ぱぁぱぁ♡ちんぽ♡

ズプズプ

ズプズプ

「んぁ♡……ソコぉ……カリ首でこすってぇ♡
あん、そこぉ♡」

「俺……ずっとブラダマンテちゃんと
セックスしていたいよぉ……」

「はぁん♡
私もお客様と……ずっとぉ♡♡」

ぷるん♡

ぱん♡ぱん♡

ぱぱぱ

「くふぅっ！締るぅ……!!
もぉ我慢できないいいっ……」

ぱんぱんと

「はぁ♡……出してぇ♡
ザーメン欲しいですぅ……♡」

「オマ◎コをぉ……
ザーメンまみれにしてぇっ♡♡」

「うはぁっ……
イクううう!!」

射精

「うおおおあぁ～っ!!
出りゅうう～っ!!」
ぷしゃ
「あぁ…♡
ザーメン注がれてるぅう～♡」
どくん
どくどくどくど

「あんっ、まだ射精してる…♡
精子が子宮に満ちていく感覚好き♡♡」
「うぉっ…んはっ…
金玉空っぽになっちゃうよぉ~っ!!」
びくっ
びくっ
びゅるるっ!
びゅっ
びゅっ
びゅ~~~

激しい性交の後、シャワーを浴びた俺たちはベッドでさらにいちゃついていていた
「あ～まじ天国～♨」
「俺、ブラダマンテちゃんとセックスするだけの仕事に就きたいよぉ～」
「ふふっ、だめですよ♡お仕事がんばらないと」
フーッ

「頑張る人には私も精一杯ご奉仕しますから♡」
「あぁ……オチ〇チンまた硬くなってきましたね……♡」
ジュッ
ジュッ

「ふふっ
ビクビクしてる♡」
「おっぱいも
いっぱい吸ってくださいね♡」
ちゅうう…♡
ぴくっ
びくんっ

「あぁぁっ！すごい勢い♡」
ちゅうぅぅ…♡

「せっかく洗ったのにまたドロドロになってしまいましたね♡」
はぁ♡
はぁ♡
どっどっ
ドロォ…
シュー
シュー
「もう一回洗い直しですね♡」

「お疲れ様でした
また指名してくださいね♡」
最高のカラダ・・・・
最高のテクニックだった・・・・
ありがとうブラダマンテちゃん
次も絶対指名する!!